

# 週報

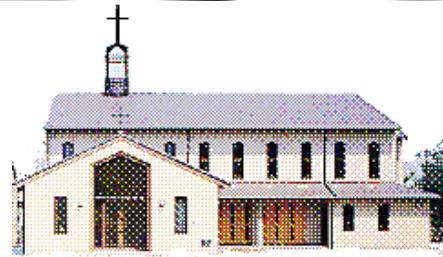
日本キリスト教団

みなみやま

## 南山教会

### <2018年間聖句>

「遣わされないで、どうして  
宣べ伝えることができよう」  
(ローマの信徒への手紙10章15節)  
<2018年主題>  
恵みを分かち合おう



Since 1947.8.1. 創立71周年

〒470-0111  
愛知県日進市米野木町南山983-16  
(愛知牧場内)

牧師 村山盛芳  
伝道師 本間優太

TEL 0561-73-6781 FAX 0561-76-3005  
教会メールアドレス minamiyama@mb.ccnw.ne.jp  
HP [www.mb.ccnw.ne.jp/minamiyama/](http://www.mb.ccnw.ne.jp/minamiyama/)

先週の説教より  
「イエスの受洗」

ルカによる福音書3章15節～22節

イエスは、ヨルダン川でヨハネからバプテスマを受けられました。その時、天が開き、声が聞こえたルカは記しています(21～22節)。イエスの公生涯の始まりです。イエスは生涯の最後に十字架の死による靈のバプテスマを受けられます。聖書が私たちに示すことは、私たちもまず悔改めて水のバプテスマを受けることが救いの初めであり、その後イエスが負われた十字架を私たちも負う事によって救いが完成するということです。

それでは教会のバプテスマの意味は何でしょうか。バプテスマを受けることによって、私たちはキリストの十字架を覚え、キリストを下さった神の愛を思います。その時、私たちも神の祝福をいただくのです。「私はあなたと共にいる(インマヌエル)」という約束こそが神からの祝福です。この祝福をいただいた時、私たちは十字架を負うことが出来るのです。重い病が与えられた時、挫折が与えられる時、その向こうに神の祝福があることを知るのです。その時、私たちは病や挫折を感謝して受け取ることができます。水のバプテスマを受けることによって救いが始まり、その救いは私たちの人生の歩みの中で完成されていくのです。

ヨハネは人々に悔改めを求め、それに相応しく生きることを求めました。天に宝を積めばそこに救いがあると主張します(ルカ3章11～14節)。しかし、このような道徳的行為では人は救われません。人間の罪は自己を救うにはあまりにも重いのです、だから神が地上に来られた、そして十字架で罪の身代わりとして死なれたと聖書は言います。

私たちの人生は約束の地を目指して歩む旅人の人生です。私たちは今、約束のものを受けるために旅をしているのです。その旅の始まりが水のバプテスマなのです。イエスのバプテスマを記すルカ3章の記事は私たちにそう教えています。  
(村山盛芳牧師)

11019・1・11 III 牛飼II曲田 No.1541

讃美歌川曲田

前奏

11九(天のみ恵ゆ)

主の祈り

交説詔締川締1～9節(六頁)

讃美歌17(聖なる山の兼ねり)

聖書ペテロの弔締1

1書川締～9節(新四二八頁)

祈禱

101(つかくいがみ粗やか)

信仰告白(使徒信條)

「慈しき神力て云ひけり」

本間優太伝道師

今週の禮拝者のための祈禱

讃美歌四八(わが州イリスカムハセ)

献金六五一

派遣九一(神の恵みゆだれり歎)

祝禱

後奏

... 聖書 ...

真締の方や世間のかくわだらわせ、お隣りの  
お隣りの隣の方や。共に元気になつめ。